

～欣浄寺法語メール～2016年1月～

デビッド・ボウイさんが亡くなったとの報が流れました。20世紀で最も影響力のあるアーティストと称賛されたイギリスのロック歌手です。ある新聞記事に英語で「ロック」とは「揺さぶる」との意味だと紹介されていました。なるほど、その手の音楽には全く興味を持たなかった小生にも、彼の音楽が世界の若者の体だけではなく「こころ」も揺さぶったことは容易に想像されます。

今月10日から16日までの一週間はお七夜（しちや）報恩講でした。お勤めは中国は唐の時代（聖徳太子の時代）に作られた善導大師の礼讃偈（らいさんげ）です。一節に「梵声如雷震（ぼんしょうによらいしん）＜梵（清らか）な佛の声は大地を揺さぶる雷のような

響き>」とあります。そのみやびな旋律を初めて耳にしたときの感動を鮮明に覚えています。今も私にとって最高の仏教音楽です。その響きが千四百年もの長き間、時や地域を超えて多くの人々のこころを揺さぶってきたことをお七夜を通して改めて実感したことです。